

教材事例書式

教材教具名 特殊いす	教科 (日常生活の指導)	
<p>教材教具写真</p> 		
<p>教材教具の概略 (ねらいと使い方) 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等</p>		
<ol style="list-style-type: none"> 1 ねらい 正しい姿勢でいすに座ることができる 2 発達段階 児童いすに座ることはできるが、正しい姿勢で継続して座ることが難しくなってきたとき 3 使い方 股止めを両股に挟んで座る。足の位置は、「あし」と書いてある部分におくようにする。 		
<p>児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)</p> <p>一般に売られている股止めいすは、股止めと肘のせがセットで付いている場合が多い。今回の対象児童は、股止めが必要で肘のせは不必要だったため、普段使用している児童いすを改造して作った。股止めは牛乳パックのなかにたたんだ牛乳パックをすきまなく入れ、布で包みこみ布と布をいすの裏側で結んで固定をした。(細かいところはガムテープで固定)。股止めは布だけでは股に角があたるため、タオル生地の布を一番上に敷くようにした。また両サイドに木を固定し、股と膝が左右に広がるのを防止した。足を置く場所が分かるように視覚支援として、紙に足型を書いた紙を貼った。</p> <p>対象児童は股止め児童いすに座るようになってから、腰がしっかり安定して正しい姿勢で座れるようになってきた。継続して股止めいすに座ったことで、児童いすに座っても以前より少し姿勢がよくなっている。</p>		